

忍耐の報い

シリーズ～終末を生きる～

2018/5/13

母の日礼拝

ヨハネの黙示録3章7～13節

フィラデルフィアにある教会の天使にこう書き送れ。『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持つ方、この方が開けると、だれも閉じることなく、閉じると、だれも開けることがない。その方が次のように言われる。「わたしはあなたの行いを知っている。見よ、わたしはあなたの前に門を開いておいた。だれもこれを閉めることはできない。あなたは力が弱かったが、わたしの言葉を守り、わたしの名を知らないと言わなかった。見よ、サタンの集いに属して、自分はユダヤ人であると言う者たちには、こうしよう。実は、彼らはユダヤ人ではなく、偽っているのだ。」

見よ、彼らがあなたの足もとに来てひれ伏すようにし、わたしがあなたを愛していることを彼らに知らせよう。あなたは忍耐についてのわたしの言葉を守った。それゆえ、地上に住む人々を試すため全世界に来ようとしている試練の時に、わたしもあなたを守ろう。わたしは、すぐに来る。あなたの栄冠をだれにも奪われないように、持っているものを固く守りなさい。

勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱にしよう。彼はもう決して外へ出ることはない。わたしはその者の上に、わたしの神の名と、わたしの神の都、すなわち、神のもとから出て天から下って来る新しいエルサレムの名、そして、わたしの新しい名を書き記そう。耳ある者は、“霊”が諸教会に告げることを聞くがよい。』』

フィラデルフィアについて

- **アジア州中部の交通の要所**
 - アッタロス2世フィラデルフォスによって建てられた
- **何度も地震を経験した不屈の町**
 - 紀元17年にも大地震に襲われた
- **宣教の記録なし**
 - 誰がいつ宣教したのか不明
 - 聖書のどこにも記述なし
 - エフェソのような大教会でも、ラオディキアのような金持ちの教会でもなかった



キリストの自己紹介

聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持つ方、この方が開けると、だれも閉じることなく、閉じると、だれも開けることがない。その方が次のように言われる。

• 聖なる方

- 罪過ちのない方。人が近づくことすらできない方

• 真実な方

- 約束を必ず履行して下さる方

• ダビデの鍵を持つ方

- 神の国の門を開閉する権威を持っておられる
- > 人間の行く末を握っておられる

フィラデルフィアの戦い

見よ、わたしはあなたの前に門を開いておいた。だれもこれを閉めることはできない。あなたは力が弱かったが、わたしの言葉を守り、わたしの名を知らないと言わなかった。

- **永遠の命への門が開かれている**
 - 彼らに対して何らかの“門を閉ざされた”のだろう
- **普通の庶民であった**
 - 「力が弱い」とは、何の能力も権力も持ち合わせていない、ということ
- **イエス様を救い主であると公言した**
 - そうすることに危険と犠牲が伴っていたのに

ユダヤ社会からの追放

見よ、サタンの集いに属して、自分はユダヤ人であると言う者たちには、こうしよう。実は、彼らはユダヤ人ではなく、偽っているのだ。

- **フィラデルフィアの人々を苦しめたユダヤ人**
 - 「サタン」(悪魔)の側にいる偽りのユダヤ人
- **ユダヤ人クリスチャンを苦しめた掟**
 - 紀元85年頃に出されたクリスチャン排斥令
 - 「ユダヤ人たちは既に、イエスをメシア(救い主)であると公に言い表す者がいれば、会堂から追放すると決めていたのである。」ヨハネ福音書9:22

クリスチャンを憎んだユダヤ人

• 会堂での祈りによる「踏み絵」

- 「ナザレ人らと異端どもは瞬く間に滅び失せ、命の書から消し去られ、義人と共にその名を記されることがありませんように。」(「十八祈祷」)
- この祈りを祈れない者は会堂から追い出された!

• ユダヤ人は、国を失った原因をクリスチャン(教会)に負わせようとした

- 紀元70年にローマ帝国によってエルサレムが破壊され、祖国を失った
- ユダヤ人は祖国を救えなかったイエスをメシアと認めず、むしろ“裏切り者”のリーダーとした

忍耐した人への報い①

見よ、彼らがあなたの足もとに来てひれ伏すようにし、わたしがあなたを愛していることを彼らに知らせよう。

あなたは忍耐についてのわたしの言葉を守った。それゆえ、地上に住む人々を試すため全世界に来ようとしている試練の時に、わたしもあなたを守ろう。

• キリストに愛されていることの幸い

- ユダヤ人たちはいずれクリスチャンにひれ伏し、神が本当に愛されているのは誰かを知る

• やがて来る「試練の時」に守られる

- この世の終わりに全世界を襲う「大患難時代」
- 信仰を告白する者は守られる

忍耐した人への報い②

勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱にしよう。彼はもう決して外へ出ることはない。わたしはその者の上に、わたしの神の名と、わたしの神の都、すなわち、神のもとから出て天から下って来る新しいエルサレムの名、そして、わたしの新しい名を書き記そう。

- **神のもとにとどまり、排斥されることはない**
 - 「神殿の柱」のように堅固である
- **与えられる最高の名前**
 - 「神の名」「神の都(エルサレム)の名」「わたしのあたらしい名」
 - ユダヤ社会で失った名誉を回復する

信念(信仰)を貫く!

- **彼らは「力の弱い」人々だった**
 - 地位も権力も財力もない、普通の人々
- **彼らは信念(信仰)を貫いた**
 - 自分が信じる道を歩み続けた
- **その結果大きな犠牲を払った**
 - ユダヤ人社会から、もしかすると家族からも排斥されたかもしれない
- **キリストは彼らのために最高の報いを用意しておられる**
 - この世で失っても永遠の国で受け取れば良い!

**だれでもわたしについて来たいと思う
なら、自分を捨て、日々自分の十字架を
負い、そしてわたしについて来なさい。
自分のいのちを救おうと思う者は、それ
を失い、わたしのために自分のいのちを
失う者は、それを救うのです。**

<ルカ福音書9章23~24節>